

報告事項（２）イ 第４回東山区教育フォーラムについて

東山区では、学校や子育て関係機関、行政が地域の皆様と共に「子育て・教育のまち東山」を推進するため、平成２６年から「東山区教育フォーラム」を開催。

その第４回目として、こどもみらい館館長 永田 萌さんをお招きし、保育園・幼稚園との連携を含めた地域や社会における健やかな子どものはぐくみについて考える「第４回東山区教育フォーラム」を実施。

１ 日 時 平成３０年３月１日（木）午後６時～８時

２ 場 所 東山区総合庁舎３階大会議室

３ 内 容（プログラム）

（１）基調講演

- ・テーマ 「子どもをはぐくむ地域のちから」
- ・講 師 永田 萌氏（イラストレーター・こどもみらい館館長）

（２）パネルディスカッション

- ・テーマ 「東山の小中一貫校と保育園・幼稚園との連携を含めた地域における子どもの健やかなはぐくみについて」
- ・パネリスト
永田 萌 こどもみらい館館長
山下 和美 東山開晴館校長
今津 敏一 東山泉小中学校校長
柳生 和代 こどもみらい館総務課担当課長補佐
（教育委員会学校指導課首席指導主事）

・コーディネーター

- 初田 幸隆 京都教育大学教職キャリア高度化センター教授
（東山開晴館初代校長）

４ 主 催 東山区役所，京都市立開晴小中学校，京都市立東山泉小中学校

５ 協 力 京都市子育て支援総合センター

６ 後 援 京都市教育委員会

７ 参加者 １０５人（入場無料）



会場の様子



チラシ掲載に御協力いただいた

永田萌さんのイラスト



永田 萌館長



初田 幸隆教授



(左)
山下 和美校長
今津 敏一校長



(右)
柳 生和代先生

アンケートから（印象に残った内容など）

（１）永田 萌館長の基調講演より

- ・子どもは、いてくれるだけで宝物だということに深く同意しました。
- ・色々な困難な問題、課題はありながらも、こうして子どもの教育について考えていける場を持てること、このことは非常に重要で素晴らしいことだと感じました。
- ・実体験から地域のちからの重要性を伝えていただけたこと、幼児期の体験が色々な場面でよみがえってくることをお話しいただけたこと
- ・良いお話で、とても温かく爽やかで、はんなりしてとてもほっこりした気持ちになった。すべて出席しているがそれぞれよかったです。とりわけ今回が一番良かったです。
- ・地域のことをよく知っていて、東山区の良さを再発見しました。
- ・信念を持って自分の意志を貫かれた結果が今の自分に繋がっているというお話
- ・人は皆、人を幸せにするために生まれてきたというお話
- ・子どもが大人になりたいと思える教育が大切だというお考えに共感しました。

（２）パネルディスカッション

- ・親以外の人と安心・安定して居続けられる場所、そこから学ぶ意欲へ。そして学びたいと思えるソフト面の大切さ。
- ・小中連携の中で幼保連携に繋がれば何よりです。思いやり、信頼感、自信が、幼少期から義務教育の完成期までつながればと思います。
- ・幼児教育のお話が特に印象に残った。小中一貫校に興味があったがその基である部分に何があるのかを教えていただけて良かったです。
- ・各先生のお話で幼保～小中までの間の連携の大切さ、75歳で今何をすればよいかと考えさせられました。
- ・開晴館・泉両校の詳しい取組や、幼児期の子どもの心の様子についてよくわかった。

報告事項（２）ウ 区民ふれあい事業について（１１月以降）

区民の運営・参加のもと、区民相互の交流とふれあいを深めるため、ふれあいひろば等、４事業を実施。平成２９年度は「子育て・教育のまち東山」をふれあい事業の方針として掲げ、子ども・子育て世代に対する内容の充実を図っている。

平成２９年７月に「ふれあい文化財鑑賞会」、９月に「ふれあい作品展」を実施し、１１月以降は以下の取組を実施。

１ ふれあいひろば（１２月）

平成２９年度は１２月３日（日）に東山開晴館において開催。「子育て教育のまち東山」として、東山開晴館、東山泉小中学校、日吉ヶ丘高等学校や今年度から東山区に開校された京都美術工芸大学を含む学校法人二本松学院にも御協力いただき、多くの教育機関が出席するとともに、「安心安全のまち東山」の取組として空き家対策ブースの設置や、毎月１６日の「東山区安心・安全の日」に安心安全の啓発を行っているえびす屋の人力車も登場した。また、飲食ブースも今までより多数、出店いただき、子どもからお年寄りまで幅広い世代が、これまで以上に楽しめるよう取り組んだ。

・来場者数 約１０，０００人



２ ふれあいこどものまち（平成３０年２月）

平成２９年度で７回目の実施。今年度は大会議室と地域体育館の２箇所で設営し、ＮＰＯ京都こどもセンター並びに京都美術工芸大学の学生と連携して、企画段階からこどもたちが、まちやまちづくりを考える過程を工夫した「こどものまち」を実施し、参加者は仕事や買い物、遊ぶなど、役割を楽しみながらまちづくりを学んだ。

・来場者数 約１９０人（小学生 約１００人、大人・乳幼児 約９０人）



東山区民ふれあい

こどものまち

1 概要

小学生の子どもたちが、自分達で考えた「まち」で働いたり、買い物をしたり遊んだりすることで、楽しみながら地域やまちづくりについて学ぶ。

〔 ○開催日時 平成30年2月24日（土）午前10時30分～午後3時
○来場者数 子ども（小学生）100名、 大人・乳幼児等 約90名 〕

2 こども会議（全4回）

こどものまち開催に向け、NPO京都子どもセンターが主導で、小学3年生～6年生までのこどもスタッフ（11名）と大人スタッフ（京都美術工芸大学生15名）に協力してもらい、実際の東山のまちのことを考えながら、こどものまちづくりを行った。

<こども会議の様子>

第1回 東山にはどんな所があるの？

各班で東山のまちにどんなお店や施設があるかを考えて、発表しました。小学生は地元なので大学生に色々教えてあげました。



第2回 「こどものまち」の内容を考えよう！

「まち」で見つけたことを発表したり、どんな「まち」にしたいかを考えました。



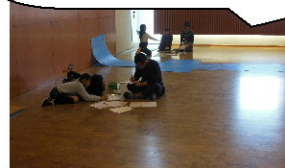
第3回 まちのレイアウトを考えよう！



実際の会場である大会議室で、こども会議メンバーが店長として内容やレイアウトを決めました！

第4回 「こどものまち」を作っていこう！

自分たちのお仕事のセールスポイントを考えながら、お店作りをしました！



3 こどものまち当日の様子

将来の東山を担う子どもやその保護者等の若い世代が多く参加し、まちづくりに触れてもらうことができました。



女性会やシニアクラブ等の皆さんに出店いただいたほか、各種団体の方々に御来場いただき、世代間交流も図れました。



京都美術工芸大学のほか、立命館大学や京都産業大学で、多くの大学生の協力により楽しい雰囲気イベントが盛り上がりしました。



報告事項(2)エ 東山を紹介する動画の作成について(名称「動画で楽しむ東山」)

東山の魅力を国内外の来訪者へPRするための動画発信ページ「動画で楽しむ東山」を、東山区来訪者向けホームページ「歩いて楽しむ東山」内で、平成26年度から運営。第4弾となる今回は、東山車いす観光散策マップ(南部版)の全5コースからそれぞれスポットを紹介する動画を制作。京都市立日吉ヶ丘高等学校(以下、日吉ヶ丘高校)のESS部(英語研究部)の皆さんに出演していただき英語と日本語で紹介。

1 内容

東山区役所が発行するまち歩きマップ「東山車いす観光散策マップ(南部版)」に掲載されている全5コースから選んだそれぞれの魅力的なスポット等を、地域で御活躍されている方々にも出演いただきながら、ESS部の皆さんが約30分の動画で紹介。スポットごとの動画も掲載し、気になる紹介部分だけを見ることも可能。

【コース名と紹介内容】(各コースとも約5分)

- ・ 東福寺コース(東山三ヶ寺巡り)
- ・ 歴女&スイーツコース(京菓匠 七條甘春堂)
- ・ 泉涌寺七福神(九福神)巡りコース(青窯会会館)
- ・ ゆっくり・のんびり散歩de 体験コース(京都美術工芸大学東山キャンパス)
- ・ 秀吉ゆかりのコース(フォーシーズンズホテル京都)

2 公開開始日

平成30年3月7日(水)



動画の一場面



撮影の様子



(参考) 東山車いす観光散策マップ(南部版)

ユニバーサルツーリズムの推進に向け、車いすで東山観光を楽しんでいただけるよう、平成23年3月の「北部版」に続き平成26年4月に発行。東山の隠れた見どころや店舗などを紹介。

報告事項（２）オ 第５回東山フォトコンテストの結果について

東山区来訪者向けホームページ「歩いて楽しむ東山」内において、第５回東山フォトコンテストを開催。

今年度は、テーマに基づいて撮影する「テーマ応募枠」に加え、今年１０周年を迎える“栗田大燈呂”をテーマに撮影する「栗田大燈呂応募枠」のコースを新たに設定。



１ 応募期間

平成２９年８月１日（火）～１０月３１日（火）

２ 募集テーマ

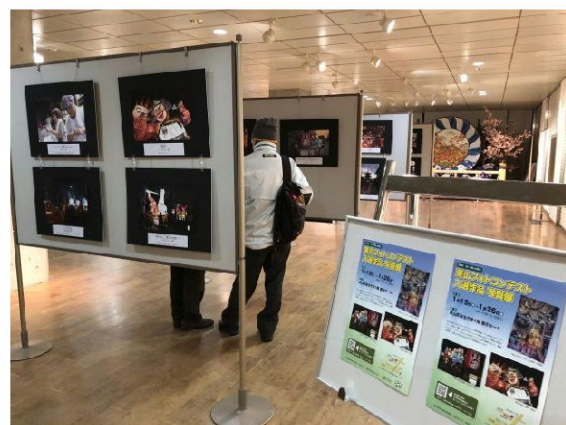
- （１）テーマ応募枠：テーマ「東山に息づく“文化”」
… 東山の歴史、伝統、芸術、着物、お地蔵さんなどを被写体とした作品
- （２）栗田大燈呂応募枠
… “栗田大燈呂”を被写体とした作品

３ 応募作品数

- ①テーマ応募枠：１１７点
- ②栗田大燈呂応募枠：４１点

４ 審査方法

京都女子大学江口淑子准教授による第一次審査、並びに東山区長及び江口准教授ほかによる第二次審査を経て選定



入選作品

「ねぶたと笑顔と熱心さ」

５ 入選作品発表・ホームページ掲載開始

平成２９年１２月１５日

○第５回東山フォトコンテスト 入選作品写真展を開催

入選作品全２８作品の展覧会を実施

（１）期 間 １月１５日（月）～ １月２６日（金）

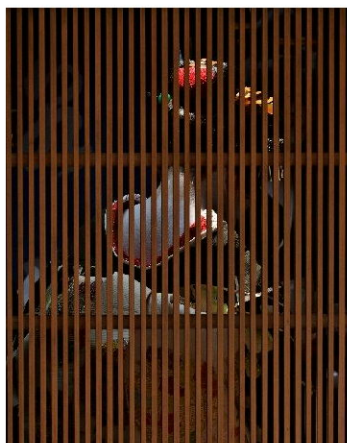
（２）場 所 東山区総合庁舎１階 展示ホール

６ 入選作品

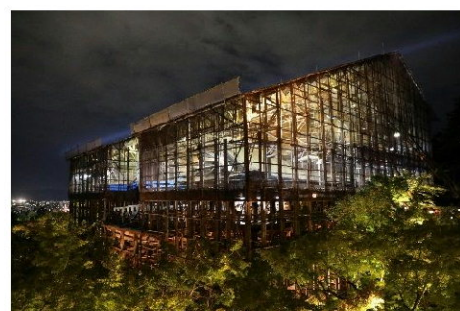
- （１）テーマ応募枠（９点）



「夏の目」



「ごあいさつ」



「平成の大改修」



「地蔵盆」



「黄昏観光」



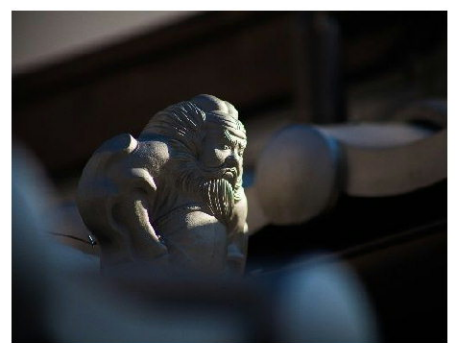
「無縁仏にお参り」



「拈華堂」



「青龍会」



「東山区の守り神。」

(2) 栗田大燈呂応募粋 (5点) ※うち1点は前ページに掲載



「行列行進の始まり」



「憤怒」



「橋たもと、集中力全開！」



「れいけん祭」

報告事項（２）カ まちづくりカフェ^{アット}@東山について

まちづくりカフェ@東山（通称“まちカフェ”）とは

東山のことをもっと知りたい！まちづくりに興味がある！という人たちが集い、語り合っていただく場です。今年度は、まちづくりに関するテーマを設定しています。また、地域で活動している人のお話も聞くことができます。

1 第1回まちづくりカフェ（５月３０日）

第１回のテーマは「**学生が地域で活動すること**」。

学生と一緒に活動したいと思う地域の方と、地域の方と一緒に活動したいと思う学生がそれぞれの思いを語り合いました。

幅広い世代の方々が参加され、まちカフェならではの世代を超えた様々な意見交換から、どんな生まれる活動が生まれるのか楽しみです。

また、今回のテーマにふさわしい東山区で積極的に地域に関わる活動をしている学生にそれぞれの活動を紹介していただき、各々ディスカッションのトークテーマを提供していただきました。



2 第3回まちづくりカフェ（９月２８日）

※第２回（８月７日）は台風のため中止

第３回のテーマは「**からだづくりとまちづくり**」。

地域でからだに良いこと（からだづくり）に取り組んでいる方と、まちづくりに関心のある方が、地域での活動と健康のつながりなどを、語り合いました。



東山区地域介護予防推進センターのご指導の下、簡単な体操を行いました

東山区で地域と積極的に関わり活動している食育指導員の方々や、東山地域介護予防普及推進サポーターの方々に活動を紹介していただき、ディスカッションのトークテーマを提供していただきました。

まちカフェから生まれた活動（一例）

人と地域の魅力発見チーム

ふだん見過ごしがちな地域の魅力を、まちあるきや花街講座などのイベントを通して探求し、発信する活動を行っている。



東山 図書館チーム

本を通して人と人が繋がる場づくりを目的に活動。

本を通して様々な方が交流する「東山ブックフェスタ」も開催。



3 第4回まちづくりカフェ（12月9日）

第4回のテーマは「子どもたちのために地域ができること」。

地元にご協力いただき、区役所を飛び出して元白川小学校（旧栗田小学校）で開催しました。

昨今、子どもの居場所づくりの取組への関心が高まっていることから、主に小学生～高校生に焦点を当てたテーマで、子どもたちのために地域ができることや東山での子どもたちの育成や見守りのあり方等について、実際に地域で行われている活動のお話を聞いて、ディスカッションしていただきました。



4 第5回まちづくりカフェ（2月8日）

第5回のテーマは、

「まちづくりへの思いを伝え合おう」。

東山でまちづくり活動をしている人も、これからしてみたい！興味がある！という人が、ワークショップを通してお互いにそれぞれの思いを時間いっぱい話し合っていました。

ワークショップでは、以下の3つのお題に沿って他の人の意見をもとに、それぞれの思いを深めていただきました。

- ①平成29年度 まちカフェのテーマについて
- ②ふれあいひろばアンケートについて
- ③新しいつながりを考える

参加者同士の交流から、まちカフェならではの新たな出会いが生まれました。今後の活動が楽しみです。



東山カップリングプロジェクトチーム

婚活イベントを通して東山区の魅力を発信し、将来的には居住につなげることを目的に活動。
今年度も引き続き婚活イベントを実施する。



お茶会と音楽のハーモニー実行委員会

地域の皆さんに気軽にアットホームなお茶会と音楽に親しんでいただき、地域の魅力発信と、世代間交流の場づくりを目指して活動中。



報告事項（２）キ 防災に関する取組について

○ 防災研修会

区民の皆様の防災意識の向上と防災知識の習得を目指し、開催。

- （１）日 時 ３月１８日（日）午前１０時３０分（１０時１０分受付開始）
- （２）場 所 区総合庁舎 ３階大会議室
- （３）講 師 水野義之氏（京都女子大学教授）
- （４）テーマ 地域防災の基礎知識：特にハザードマップと原子力災害
- （５）対 象 区内在住の方
- （６）参加費 無料（事前申込み不要）

※ 本研修会は平成２９年度市民消防表彰式の第２部として開催。



昨年度の防災研修会の様子

報告事項（２）ク 「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」について

平成２８年３月１６日の区民会議で御承認いただいた「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」東山区版プログラムを、世界一安心安全チーム東山の皆様と協力して推進。

※ チーム東山の各構成機関の自主的なお取組以外で、「安心安全のまち東山」ネットワーク会議が事務局となり取り組んだ内容について報告。

- （１）毎月１６日「東山区安心安全の日」の取組
- （２）知恩院三門における東山区民大会の開催（４月）
- （３）大学と連携した護身術講座の開催（１０月）
- （４）センサーライト設置促進事業（１０月以降）
- （５）地域で気づく！東山区一斉 世界一安心安全タウンウォッチング（２月、３月）

平成30年度東山区区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算(案)

予算総額 14,720千円
 〔一般財源 14,180千円〕
 〔特定財源(HPバナー広告) 540千円〕

内訳	1 提案型	7,010千円	[29年度] 7,010千円	プロジェクト型事業で新たに2事業を開始 支援事業で明治150年関連の支援枠新設
	2 共汗型	7,710千円	[29年度] 7,710千円	明治150年にスポットを当てて事業を実施 子育て・教育と健康長寿の取組を継続して推進



1 区民提案型事業

区制90周年プレ事業

プロジェクト型事業(2,100千円)

新規事業スタート!

1 外国人おもてなしプロジェクト

増え続ける外国人観光客の文化や習慣を、区民や店舗等が正しく理解する機会を創出するほか、外国人観光客の市バスのスムーズな乗降に役立つ指差し手帳の作成などを行う。



増え続ける外国人観光客

具体的取組

- ・東山版の市バス指差し手帳の作成(交通局とのコラボ)
- ・区民と留学生等が交流するワークショップ(文化や習慣等を学ぶ)
- ・外国の文化等をまとめた冊子の作成 など



新規事業スタート!

2 京焼・清水焼 東山「目利き」づくりプロジェクト(仮称)

世界に誇る京焼・清水焼を素材対象として、消費者に伝統産業の良さを伝え、その感度を上げるために、京焼・清水焼の「目利き」のポイントをまとめ、認知度や売上げ向上などの複合的な成果を目指す取組を行う。



京焼・清水焼

具体的取組

- ・職人・窯元等(製造側)及びホテル・飲食店(使用側)への「目利き」のリサーチ
- ・区内ホテルの富裕層等を対象とした「目利き」を学ぶツアー開催 など

継続

3 高齢者支援プロジェクト

高齢者の方々と交流を通して、学生が地域の中でその生活を理解し、高齢者と共に健康長寿のまちの実現について考え促進する活動に取り組む。

具体的取組

- 29年度に引き続き、高齢者との交流を通じて支援の促進に取り組むとともに、試作品を汎用化してより広域的な展開を図る。

リサイクルプロジェクト



体操教室出席カード

おさんぽ地図

継続

4 東山・大学連携プロジェクト

京都女子大学や日吉ヶ丘高校等と連携し、東山南部地域で行われている三ヶ寺巡り等の機会に、学生が英会話による道案内を行うほか、「禅」等の文化を伝える取組を行う。

具体的取組

- ・学生から禅文化等を伝える取組
- ・社寺や商店街、窯元組合等と連携した手作りガイド作成 など



手づくり御朱印帳講座

観光道案内

充実

課題解決型・自由提案型事業(4,580千円)

区制90周年プレ事業

新設【明治150年記念】歴史力・文化力活性化枠(仮)

明治期に関する近代建築・史跡めぐりやワークショップなど区民の明治にまつわるアイデアを活かした取組を応援!

助成対象経費の5分の4以内又は50万円のいずれか低い額を助成



東山区山・協会洋館

課題解決型Ⅰ事業

・空き家活用・民泊への対応等に資する取組

助成対象経費の5分の4以内又は50万円のいずれか低い額を助成

課題解決型Ⅱ事業

東山区が抱える課題の解決に資する事業

- ・区基本計画に定める20の重点取組項目の推進に資する事業
- ・子育て・教育環境の向上に資する取組
- ・防犯力・防災力の向上に資する取組
- ・健康長寿のまちの実現に資する取組
- ・大学と地域の連携促進に資する取組

助成対象経費の4分の3以内又は50万円のいずれか低い額を助成

自由提案型事業

地域の魅力を高める事業又は地域の活性化につながる事業

助成対象経費の2分の1以内又は50万円のいずれか低い額を助成

小規模事業

まちづくり活動の芽を力強く支援する。比較的小規模な事業(事業費約15万円以下)について、高率で助成(1年限り)。

助成対象経費の10分の9以内又は10万円のいずれか低い額を助成

まちカフェ事業

「まちづくりカフェ@東山」の参加者相互が協働して行う事業も支援
 助成対象経費の10分の10以内又は5万円のいずれか低い額を助成

※ 他に地域の安心安全ネットワーク支援事業(330千円)

2 共汗型事業

(1) 東山区の魅力発信

東山区における明治150年記念事業

区制90周年プレ事業

新規 明治を学ぼう東山！(仮) (400千円)

○リレー講義「明治期の京焼・清水焼」

明治期にちなんだ講義として東山区では陶磁器に関する講演会を、京都造形芸術大学客員教授の中ノ堂一信先生を講師に迎え、6月に実施予定。



明治期の京焼

○東山「明治期・陶磁器・まち歩き」

歴史と文化に彩られた東山において、平成31年度に区制90周年を迎えることもふまえ、明治期に陶磁器で日本を代表する芸術性を有すると共に一大産業地帯でもあった東山の史跡や先人の足跡を辿り、より深く知っていただく企画を実施。



明治期の実業家
松風嘉定の邸宅
「五龍閣」

継続 東山区民ふれあい文化財鑑賞会

(予算は後掲の区民ふれあい事業の内数)

東山区内の複数の寺院などを歩いて巡り、史跡や文化財を鑑賞し、歴史と文化財の宝庫、東山の素晴らしさの再発見を通して、交流とふれあいを深める。

平成30年度は明治関連の鑑賞先を選定予定。



平成29年度鑑賞先
並河靖之七宝記念館

充実 再発見！明治時代と東山 (1,262千円)

○東山フォトコンテスト

歴史と文化の宝庫、東山で「明治」をキーワードとしたフォトコンテストを実施！

○学生による魅力紹介動画

明治にまつわるスポットを学生が紹介する動画を作成！



過去の応募作品「インクラインの桜」



和菓子づくり体験



日吉ヶ丘高校「HELLO Village」にて



日吉ヶ丘高校ESSと京都女子大学ESSによる協力

(2) 子育て・教育と健康長寿のまちの推進

継続 「子育て・教育のまち東山」(300千円)

子育て・教育のまち東山において、東山開晴館・東山泉小中学校・日吉ヶ丘高等学校のほか、京都女子大学・京都華頂大学・京都美術工芸大学や区内の子育て・教育機関等との連携・協力を推進。東山での教育の取組、教育環境、子育てに関する関心についてシンポジウム等の取組を実施。また、区内の保育園・幼稚園・総合支援学校との協力も図っていく。

【平成30年度の取組】

- ・日吉ヶ丘高の総合学習の時間、キャリアゼミへの参画
- ・東山区教育フォーラムの開催
- ・学校運営協議会への参画



東山区教育フォーラム

継続 皆でつくろう！健康長寿のまち・東山 (100千円)

区民の健康寿命延伸に向けて、健康ウォーキングを地域の医師会等と共催するなど、区民の自主的な健康づくりを推進するための取組を実施する。また、地域でボランティアとして活躍する食育指導員や健康づくりサポーターの活動を広く発信。



健康ウォーキング



食育指導員による「乾物を使ったレシピ」

(3) 人づくりと地域の活性化

継続 区民ふれあい事業 (4,180千円)

区民の運営・参加のもと、ふれあいひろば等の事業を実施する。また、引き続き「子育て・教育のまち東山」をふれあい事業の方針として掲げ、子ども・子育て世代に対する内容の充実及び世代間交流を促進。

【平成30年度の取組】

- ・明治150周年記念として鑑賞先を明治関連にしたふれあい文化財鑑賞会を開催
- ・ふれあい作品展への出展団体の充実
- ・ふれあいひろばにおいて、子育てや安心安全に関連するブースを充実
- ・こどもの「文化力」をはぐくむ事業



こどものまち

(4) 安心安全のまちの推進など

継続 東山区基本計画の推進 (718千円)

京都市「東山の未来」区民会議を運営する。

- 【平成30年度の取組】
- ・京都市「東山の未来」区民会議の開催
 - ・区制90周年記念事業についての検討

平成29年度第1回会議(11/15)



継続 つながる防災コミュニティの実現 (250千円)

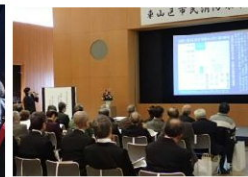
防災訓練、区民防災研修会や発災時の避難行動を考えるミーティング等を通じ、地域・世代がつながる防災・減災のコミュニティづくりを推進する。

【平成30年度の取組】

- ・東山区総合防災訓練での学生との連携
- ・区民防災研修会
- ・地域、避難所施設、関係機関が参加する避難行動検討ミーティング



総合防災訓練



防災研修会

継続 まちづくりカフェ@東山 (500千円)

まちづくりに関心のある方が自由に集い、交流や発信を行う場を提供。平成30年度は、29年度に好評であったテーマ設定型の交流や、地域で活躍するゲストを招いたり、元白川小学校での出張まちカフェのような、地域におけるより多くの方が気軽に交流できるような様々な企画を展開。



カフェワークショップ テマ「学生が地域で活動すること」「からだづくりと地域づくり」

